

定期作況報告

平成28年7月
(7月20日現在)

北海道立総合研究機構 北見農業試験場

1. 気象経過

6月下旬：最高気温、最低気温および平均気温はともに平年並であった。降水量は平年より少なかった（平年比40％）。日照時間は平年並であった（平年比95％）。

7月上旬：最高気温は平年並で、最低気温は平年より低く、平均気温は平年よりやや低かった。降水量は平年よりやや多かった（平年比131％）。日照時間は平年よりやや多かった（平年比136％）。

7月中旬：最高気温は平年よりやや低く、最低気温は平年よりやや高く、平均気温は平年よりやや低かった。降水量は平年並であった（平年比96％）。日照時間は平年並であった（平年比85％）。

以上のことから、この1か月間（6月下旬～7月中旬）は、気温、降水量および日照時間はともに平年並であった。

気 象 表

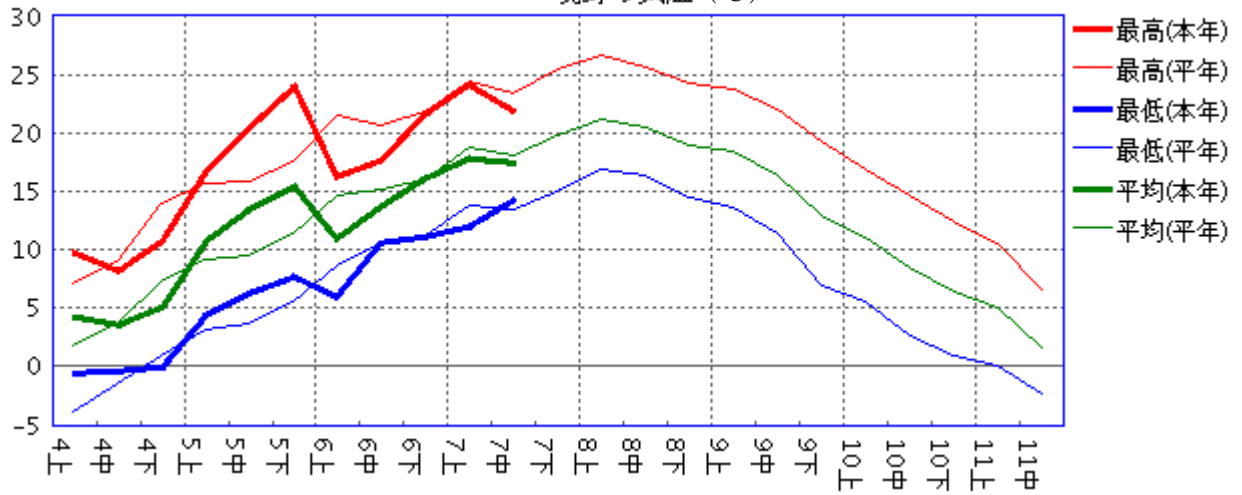
月 旬	平均気温(℃)			最高気温(℃)			最低気温(℃)		
	本年	10年平均	比較	本年	10年平均	比較	本年	10年平均	比較
6月 下旬	16.1	16.1	0.0	21.5	21.9	-0.4	11.0	11.2	-0.2
7月 上旬	17.7	18.7	-1.0	24.2	24.4	-0.2	12.0	13.8	-1.8
7月 中旬	17.4	18.0	-0.6	21.9	23.4	-1.5	14.2	13.5	0.7

月 旬	降水量(mm)			日照時間(hr)		
	本年	10年平均	比較	本年	10年平均	比較
6月 下旬	11.0	27.4	-16.4	49.0	51.8	-2.8
7月 上旬	40.0	30.6	9.4	71.5	52.5	19.0
7月 中旬	34.5	36.0	-1.5	38.9	45.6	-6.7

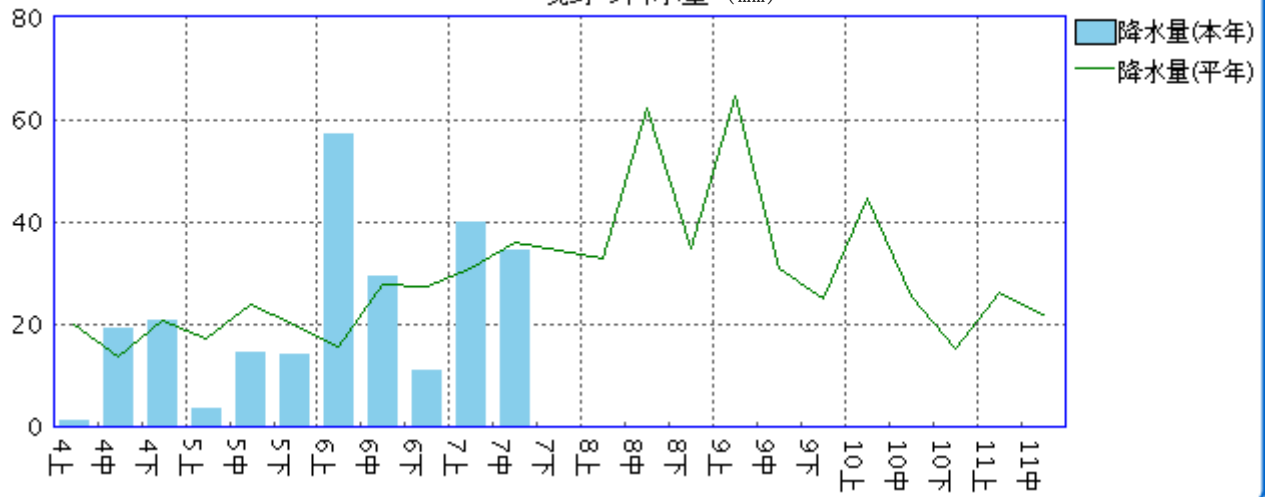
注) 観測値は置戸町境野のアメダスデータである。

10年平均は前10か年間の平均値である。

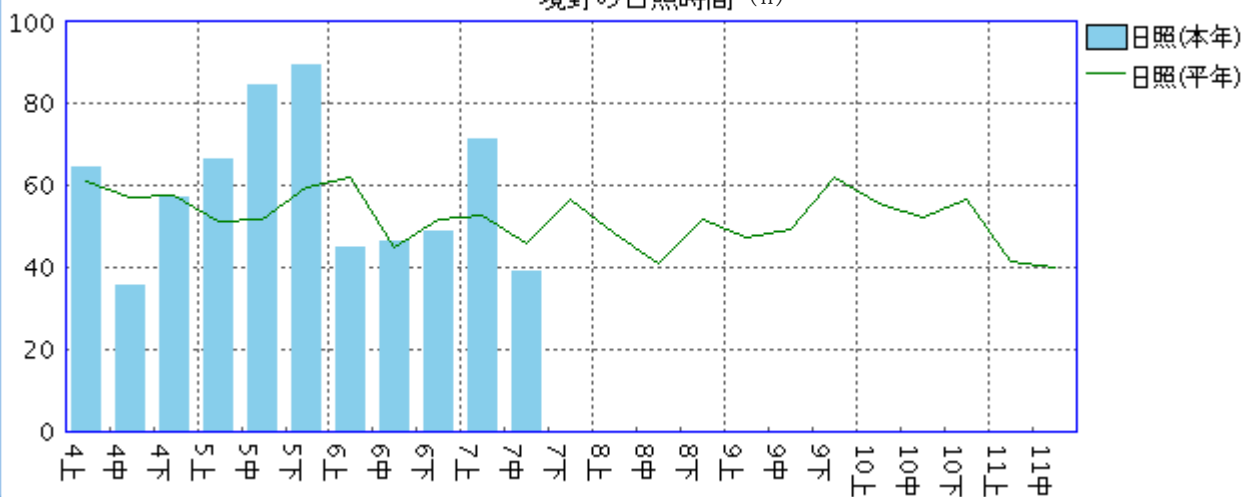
境野の気温 (°C)



境野の降水量 (mm)



境野の日照時間 (h)



2. 当場の作況

注) 本作況報告は北海道立総合研究機構北見農業試験場の平年値に対する生育良否に基づいたものであり、オホーツク管内全体を代表するものではありません。

1) 秋まき小麦 作況：平年並

事由：6月下旬以降の平均気温は概ね平年並に経過しており、登熟は順調に進んでいる。稈長は平年よりやや短い、穂長、穂数は平年並である。倒伏は未発生である。

以上のことから、目下の作況は「平年並」である。

調査項目	きたほなみ		
	本年	平年	比較
稈長(cm) (7月20日)	82	86	△4
穂長(cm) (7月20日)	8.7	8.7	0.0
穂数(本/m ²) (7月20日)	756	752	4

注) 「きたほなみ」の平年値は前7か年中、平成22年(最凶)、27年(最豊)を除く5か年の平均。

2) 春まき小麦 作況：やや良

事由：6月上中旬の平均気温が平年より低く経過したことから生育は緩慢となり、出穂期は平年並から1日遅かった。開花後の7月上旬の降水量は平年よりやや多く、わずかに赤かび病の発生が認められる。稈長、穂長は平年並であるが、穂数は平年を大きく上回っている。

以上のことから、目下の作況は「やや良」である。

調査項目	春よ恋			はるきらり		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
出穂期 (月.日)	6.23	6.22	1	6.21	6.21	0
稈長(cm) (7月20日)	98	94	4	91	94	△3
穂長(cm) (7月20日)	8.2	8.1	0.1	7.6	7.3	0.3
穂数(本/m ²) (7月20日)	806	538	268	840	571	269

注) 平年値は前7か年中、平成21年(最凶)、27年(最豊)を除く5か年の平均。

3) とうもろこし (サイレージ用)

作 況 : やや不良

事 由 : 7月上旬および中旬の平均気温が平年よりやや低かったため、葉数は平年並であるが、草丈は平年を下回っている。

以上のことから、目下の作況は「やや不良」である。

調査項目	チベリウス		
	本年	平年	比較
草丈 (cm) (7月20日)	149.3	179.4	△30.1
葉数 (枚) (7月20日)	12.3	12.5	△0.2

注) 平年値は前7か年中、平成23年(最豊)、25年(最凶)を除く5か年の平均。

4) 大 豆

作 況 : やや不良

事 由 : 6月下旬以降の気温が平年並に経過したため生育の遅れは回復しつつあるが、7月20日現在で開花始に至っていない。本葉数と分枝数は平年並であるが、主茎長は平年を下回っている。

以上のことから、目下の作況は「やや不良」である。

調査項目	ユキホマレ		
	本年	平年	比較
開花始 (月.日)	—	7.17	—
主茎長 (cm) (7月20日)	45.0	56.7	△11.7
本葉数 (枚) (7月20日)	7.9	7.7	0.2
分枝数 (本/株) (7月20日)	5.1	5.1	0.0

注) 平年値は前7か年中、平成21年(最凶)、23年(最豊)を除く5か年の平均。

5) 小豆

作況：不良

事由：6月下旬以降の気温が平年並に経過したが、生育の遅れは回復していない。主茎長と分枝数は平年をかなり下回っており、本葉数も平年を下回っている。

以上のことから、目下の作況は「不良」である。

調査項目	サホロショウズ			エリモショウズ		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
開花始 (月.日)	—	7.21	—	—	7.24	—
主茎長(cm) (7月20日)	12.8	23.3	△10.5	14.2	21.3	△7.1
本葉数(枚) (7月20日)	5.9	7.0	△1.1	6.4	7.1	△0.7
分枝数(本/株) (7月20日)	0.7	3.1	△2.4	1.0	3.0	△2.0

注) 平年値は前7か年中、平成23年(最豊)、24年(最凶)を除く5か年の平均。

6) 菜豆

作況：平年並

事由：6月下旬以降の気温が平年並に経過したため、生育は概ね回復している。開花始は平年より1日遅く、分枝数は平年をやや下回っているが、草丈、本葉数は平年並である。

以上のことから、目下の作況は「平年並」である。

調査項目	大正金時		
	本年	平年	比較
開花始 (月.日)	7.9	7.8	1
草丈(cm) (7月20日)	44.3	45.9	△1.6
本葉数(枚) (7月20日)	3.4	3.3	0.1
分枝数(本/株) (7月20日)	4.5	5.4	△0.9

注) 平年値は前7か年中、平成23年(最豊)、25年(最凶)を除く5か年の平均。

7) ばれいしょ 作 況：平年並

事 由：萌芽は平年より早かったものの、6月上・中旬の気温が低温に経過したことから、開花始はほぼ平年並であった。茎長は両品種ともに平年よりやや長かった。

以上のことから、目下の作況は「平年並」である。

調査項目	男爵薯			コナフブキ		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
開花始 (月.日)	6.29	6.30	△ 1	6.29	6.30	△ 1
茎長(cm) (7月20日)	53	50	3	74	70	4
茎数(本/株) (7月20日)	4.1	3.8	0.3	3.0	3.6	△ 0.6

注) 平年値は前7か年中、平成22年(最凶)、24(最豊)を除く5か年の平均

8) てんさい 作 況：平年並

事 由：6月下旬以降は平年並の気象経過となったため生育が回復し、すべての調査項目でほぼ平年並となった。

以上のことから、目下の作況は「平年並」である。

調査項目	移植						直播		
	モノホマレ			アーベント			リッカ(参考)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
草丈(cm) (7月20日)	56.5	55.3	1.2	52.5	51.8	0.7	43.4	51.5	△ 8.1
生葉数(枚) (7月20日)	21.3	21.9	△ 0.6	20.7	20.7	0.0	13.9	16.2	△ 2.3
茎葉重 (g/個体) (7月20日)	648	616	32	630	587	43	265	447	△ 182
根重 (g/個体) (7月20日)	249	269	△ 20	261	282	△ 21	56	149	△ 93
根周(cm) (7月20日)	20.5	21.6	△ 1.1	21.8	22.9	△ 1.1	15.8	19.0	△ 3.2

注1) 平年値は前7か年中、平成26年(最豊)、22年(最凶)を除く5か年の平均。

注2) 直播「リッカ」は参考品種、平年値は前6か年の平均。

9) 牧草(チモシー)

作況：平年並

事由：1番草の乾物収量は平年比102%と平年並であった(前報)。2番草再生時の草丈は平年並で、欠株の発生も認められていない。

以上のことから、目下の作況は「平年並」である。

調査項目	ノサップ		
	本年	平年	比較
被度 (%) 2番草再生時(7/12)	100	100	0
草丈 (cm) 2番草再生時(7/12)	39	37	2

注) 平年値は前7か年中、平成24年(最豊)、27年(最凶)を除く5か年の平均。

10) たまねぎ

作況：平年並

事由：7月上旬の降水量はやや多く、日照時間もやや多かったため、葉部生育は進んだ。球肥大はやや遅れているものの、草丈および葉鞘径は平年をやや上回り、生葉数は平年並である。

以上のことから、目下の作況は「平年並」である。

調査項目	スーパー北もみじ			オホーツク222(参考)			北もみじ2000(参考)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
球肥大期 (月.日)	-	7.22	-	7.12	7.10	2	-	7.18	-
草丈(cm) (7月20日)	91.4	82.8	8.6	92.1	83.6	8.5	88.4	81.4	7.0
生葉数(枚) (7月20日)	10.5	10.0	0.5	10.6	9.5	1.1	10.0	9.4	0.6
葉鞘径(mm) (7月20日)	22.1	21.0	1.1	23.7	21.9	1.8	22.7	21.1	1.6
葉身生重(g) (7月20日)	180.2	139.8	40.4	215.8	145.6	70.2	169.3	125.2	44.1
球生重(g) (7月20日)	56.2	67.4	△11.2	110.7	97.8	12.8	54.5	64.2	△9.7

注) 平年値は前7か年中、平成23年(最豊)、25年(最凶)を除く5か年の平均。但し、参考品種は前6か年平均。